

Salon

Vol.129 2020年11月 冬号



ホール4F壁画「黄色いブーケとヴァイオリン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — ヴァルティナ
- 03 Phoenix Presents — ミニマル・ミュージックの軌跡〜オール・ライヒ・プログラム〜
中田麦 マリンバリサイタル 三善晃、一柳慧の音楽
- 05 Pick Up
- 07 Essay de say — Freiheit! 福井敬

北欧トラッドの頂点に立つ歌声 ヴァルティナ



ロシアと国境を接するフィンランドのカレリア地方の伝統音楽に根差した鮮烈な歌声で、90年代以降にワールドワイドな活躍を続けてきたヴァルティナ。ブルガリアン・ヴォイスにも通じる美しく躍動的なハーモニーを軸に、現代北欧トラッドの代表格として別格の存在感を放ち、新メンバーも迎えながらより深化した境地を示してきた彼女たちは、来年1月に約10年ぶりとなる来日公演を行う予定となっていたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて残念ながら開催中止となった。しかし、来日に合わせて用意していたメールでの質問に回答を寄せてくれたので、改めての来日実現を願いながらココにインタビュー記事をお届けする。彼女たちの音楽的なルーツや、キャリア40年近くに及ぶこれまでの歩み、そして気になる近況やフロントの女性3名だけで行うライブのことなどについて、マリ・カーシネン、スーザン・アホ、カロリーナ・カンテリネに訊いた。

(取材・文:吉本秀純/音楽ライター)

ヴァルティナ(ヴォーカル)

フィンランドの東側、カレリア地方で1983年に結成。ヴァルティナは日本でも最初になつた北欧伝統音楽グループであり、“北欧にヴァルティナあり”と評される。不思議なポリリズムのコーラスや変拍子は、世界を代表する民族歌唱法としてブルガリアン・ヴォイスと併せて紹介されることも多い。現在も北欧シーンを世界に向けて牽引。ヴァルティナが成功し続けていることが、全北欧音楽シーンに大きな影響を与えている。2013年新ヴォーカルカロリーナ・カンテリネを迎え、カレリアの自然と伝統を回帰する13枚目のアルバムが話題作となる。1987年カウスティネン・フォーク・ミュージック・フェスティバルで、最優秀アンサンブルの受賞を皮切りに、世界で数えられない音楽賞と、フェスティバルのメインアクトとして出演している。

ヴァルティナ公演 中止のお知らせ

2021年1月30日(土)に開催を予定しておりました「ヴァルティナ」公演は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、協議の結果、やむを得ず開催を中止と決定させていただきました。公演を楽しみにされていたお客様には大変残念なお知らせとなりますが、何卒ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 自主企画公演グループ
TEL:06-6363-0211(平日9:00~18:00/土日祝日休業)

深化を続ける鮮烈なハーモニー



ヴァルティナの音楽の根本にあるのは、1983年に結成された頃からロシアと国境を接するフィンランド南東部のカレリア地方の伝統音楽だと思えますが、その特徴や歴史の変遷について改めて教えてくださいませんか？また、ヴァルティナが確立したスタイルは、どういった点がとりわけ画期的だったのでしょうか？

カレリア音楽の歴史は、『カレワラ』(注:19世紀に編纂されたフィンランドの民族叙事詩。大作曲家として知られるシベリウスの楽曲にも多大な影響を与えている)に記録された古いルーン文字で書かれた歌を起源としています。11世紀頃には、カンテレや弓付き堅琴などの楽器を伴奏に歌われるようになったものです。ヴァルティナは、そのユニークな音作りで、カレリア独特の歌唱スタイルをよりポピュラーなものにしてきました。

例えば、ブルガリア、コルシカ島、そしてフィンランドと隣接するバルト三国など。ヨーロッパとその周縁諸国では独自のハーモニーの合唱音楽が盛んですが、ヴァルティナのハーモニーはその中でも特に鮮烈なインパクトを放っています。皆さんも世界中のポリフォニーなどを聴かれていると思いますが、ヴァルティナに近いと感じられたものはありますか？

ヴァルティナの音楽的なルーツにあるのは、フィン・ウゴル語派(注:ウラル語派に属する言語群で、フィンランド語、エストニア語、ハンガリー語などを含む)の文化ですね。でも、私たちは、ブルガリアの合唱団の音とハーモニーもとても好きですよ。

すでに結成から40年近くの歩みの中で、ヴァルティナはメンバー構成や音楽の方向性において変遷を遂げてきました。これまでの活動の中でグループにとって大きな転機となった時期やアルバムについて、いくつか挙げながら現在に至るまでの流れを聞かせてください。

最初の大きな転機となったのは、やはり1990年に子供の遊びの延長で始まったものからプロフェッショナルなバンドとしての活動に変わったことですね。92年に発表した4枚目のアルバム『セレ

ニコ』の後には、私たちはより国際的な場で活躍してきました。そして、2004年にはカレリア地方の伝統を守り続けていることが評価されて、フィンランド政府から特別賞を受賞しました。

また05年には、現代インドを代表する作曲家のA.R.ラフマーンと一緒に『ロード・オブ・ザ・リング』のミュージカル版の作曲を担当し、ロンドンとトロントでの公演が成功を取めたのも大きな経験でした。毎年開催されるワールド・ミュージックの世界的祭典であるWOMEXでは、12年にアーティスト・アワードを受賞。この10年間ほどは、多くの国際的に有名な音楽家や楽団(BBCコンサート・オーケストラ、サイモン・ホー、NITS、マギー・ライリー、エリザ・カーシー、フィンランド国立歌劇場、UMOジャズ・オーケストラ)とのコラボも立て続けに行ってきました。

近年のヴァルティナの動きでは、2013年にカロリーナ・カンテリネンが新メンバーとして加入したことが最も大きな変化だったように思います。カロリーナさんはサーミ人の伝統歌謡であるヨイクにも精通されていますが、それは近年のヴァルティナの音楽性にどんな影響を及ぼしていますか？

カロリーナ・カンテリネンは、サーミ人のヨイクとはまた異なったカレリア人のヨイクに精通しているんですよ。ヴァルティナのレパートリーには、カレリアン・ヨイクの曲が1曲あります。

現在のところ、最も新しいアルバムとなるのは2015年にリリースされた『ヴィエナ』です。この作品は、フィンランドと国境を挟んでロシア側にあるカレリアの伝統音楽が歌われている村を訪れ、現存する古老の歌い手たちと出会いから生まれたものです。『ヴィエナ』で到達した新境地について聞かせてください。

すべての曲には、ヴィエナへの旅から影響を受けたストーリーがあります。また、アコースティックな音作りをより強めたのも、古き良き時代への敬意からです。『ヴィエナ』の収録曲は、どれも旅の中で起こった特定の経験や出来事からインスピレーションを受けています。

マリさんもカロリーナさんもスーザンさんもシベリ

ウス・アカデミーの民俗音楽科を卒業されています。フィンランドの優れた音楽家は、ジャンルを問わずにほとんどがシベリウス・アカデミーの卒業生である気がします。やはりフィンランドの音楽家にとって特別な教育機関なのでしょうか？

シベリウス・アカデミーの民俗音楽科では、最高学位のプログラムを学ぶことができます。

『ヴィエナ』以降のヴァルティナは、どのような方向に進んでいますか？また、すでに新しいアルバムを作り始めていれば、次はどのような作品になりそうかを聞かせてください。

『ヴィエナ』の後、私たちは様々なプロジェクトに関わってきました。フィンランドのポップスのカバー・プロジェクトも行いました。今年の秋には、サリ・カーシネン(注:マリの実姉で、ヴァルティナ結成時のリーダー。1996年に世界的にヒットした6枚目の『ココ』を発表後に脱退し、自身が新たに結成したグループやソロで活動を続けている)との新しい音楽ビデオをリリースする予定です。新曲も作っていて、来年のリリースを予定しています。

今回の約10年ぶりとなる来日公演は、バンドを引き連れずにフロントの女性3名だけのシンプルな編成で行うとのこと。そのミニマムな編成で行う時の特徴を含め、どのようなコンサートになりそうかを予告編的に聞かせてください。

残念ながら、COVID-19パンデミックの影響で今回のツアーは延期となってしまいました。3人だけの“ヴァルティナ・ヴォーカル”では古いレパートリーをよく取り上げています。フィンランドの5列アコーディオン、カンテレ、民俗的なフルートなどを各々が歌いながら演奏もします。

最後に。ヴァルティナの音楽に関心を持つ日本の音楽ファンにメッセージや伝えたいことがあれば、自由に聞かせてください。

私たちは日本が大好きで、前回のツアーでも素晴らしい思い出がたくさんあります。近いうちにまた日本に行きたいと思っています！



11月27日(金)
10:00 受付開始
ザ・フェニックスホール
友の会優先予約

11月30日(月)
10:00 受付開始
イーフェニックス
E-PHX優先予約

12月1日(火)
10:00
一般発売

インターネット予約による
お申込みは12月2日(水)10:00から!

■アンサンブル・ア・ラ・カルト64

2021年2月27日(土)

16:00開演 指定席
一般¥3,500(友の会会員¥3,150)
学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

繰り返す音の渦の恍惚、折り重なる波の残響
ミニマル・ミュージックの軌跡
～オール・ライヒ・プログラム～

出演 中川賢一(ピアノ)、若林かをり(フルート<アンサンブル九条山>)、山田岳(エレクトリックギター)、石上真由子(ヴァイオリン<アンサンブル九条山>)、
福富祥子(チェロ<アンサンブル九条山>)、上田希(クラリネット<アンサンブル九条山>)、畑中明香(ヴィブラフォン<アンサンブル九条山>)、
有馬純寿(エレクトロニクス)

曲目 スティーヴ・ライヒ:ピアノ・フェイス(1967) ヴァーモント・カウンターポイント(1982) エレクトリック・カウンターポイント(1987)
ピアノ・カウンターポイント(1973/2011) ダブル・セクステット(2007) (予定)



本コンサートは、ミニマル音楽の巨匠、スティーヴ・ライヒの代表作品である“ダブル・セクステット”(2009年度ピューリッツァー賞受賞作)を軸に、初期作から人気のカウンターポイントシリーズまで、ライヒ作品の軌跡を辿るオール・ライヒ・プログラムである。演奏にはミニマル音楽に造詣の深いピアニスト・中川賢一を中心に、ギタリストの山田岳、フルート奏者の若林かをり、現代音楽を専門に演奏するアンサンブル九条山、そしてエレクトロニクスのスペシャリスト有馬純寿を迎えて実現する。

ライヒ作品の多くは、短い音型の反復(繰り返し)が主となっており、進行の過程で音型を少しずつ変化させていくと同時にその組み合わせを変更させていく。一聴すると起伏に乏しい単調な音楽に聞こえるかもしれないが、耳を澄まして聞いてみると、閉じた世界の中で、万華鏡が華開くかのように色鮮やかに音に変化していくのがわかる。その音の渦に身を委ねていると、時間の感覚は揺らぎ、魔術的ともいえるある種の恍惚が訪れるのである。

ライヒの創作の源には、西洋音楽のみならずアフリカやインドネシアあるいはユダヤ音楽など様々な民族の音楽がある。民族音楽の多くはまさに短いフレーズの反復で成り立っており、中には儀式や祭りなどで、呪術者や参加者をトランス状態に導くために演奏されるものもある。音を反復することこそが、人間の根源的な快樂に繋がっているのである。ライヒ作品は、純粹な西洋音楽の様式の中で書かれており、そうした呪術性を排除した極めて理性的な音楽のようであるが、その実は人間の根源的な快樂要素がしっかりと内包されているのである。

本コンサートは、ライヒの魅力を存分に味わうことができる貴重な機会である。是非ともミニマル音楽の真髄を体感し堪能して欲しい。

(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 宮地泰史)



発売日変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、次の公演の発売を延期いたします。
発売は2021年1月16日(土)を予定しております。状況変化に伴い今後も変更の可能性がありますので、何卒ご賢察の上、ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます

- ・伊東信宏 企画・構成 土と装飾:郷古廉&加藤洋之 デュオリサイタル(2021年3月20日開催)
- ・2021年度ティータムコンサートシリーズ

■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ95

主催 レヒネル・トリオ事務局

2021年2月13日(土)

公演延期

レクチャーコンサートシリーズ「ピアノ三重奏の歴史」 第1回:弦楽器が歌い出すとき

出演 長尾春花(ヴァイオリン)、水野優也(チェロ)、水谷友彦(ピアノ)、松井拓史(レクチャー)

新型コロナウイルス感染症による影響とその対策を踏まえ、やむを得ず延期とさせていただきます。公演を楽しみにされていたお客様には、大変残念なお知らせで申し訳ございませんが、事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、振替公演の日時は現在調整中です。決まり次第ホームページでご案内いたします。



■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ92

主催 中田麦 マリンバリサイタル事務局

2021年3月10日(水)

19:00開演 指定席

一般前売¥3,000(友の会会員¥2,700)

一般当日¥3,500(友の会会員¥3,150)

学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

※学生券は大学生以下の方対象。

気鋭のマリンバ奏者、中田麦による三善晃、一柳慧の音楽。
二人の作曲家の音世界を聴く

*2020年5月23日(土)の振替公演

中田麦 マリンバリサイタル 三善晃、一柳慧の音楽



出演 中田麦(マリンバ)、崔理英(ピアノ) 曲目 三善晃:組曲「会話」、リップル、トルスIII
一柳慧:森の肖像、源流、パガニーニ・パーソナル

当りサイタルは、日本を代表する作曲家である三善晃と一柳慧のマリンバ作品に光を当てる。三善晃のマリンバ作品は、三善の書いた非常に精緻な音がマリンバの硬質な音色と相まって独特な精神世界を形成する。楽譜には不要な音はひとつもなく、「それしかない音」が書き記されている。その音楽は内と外へ向かっていく二つのエネルギーが危ういバランスを保ち、聴き手の心を離さない。対して一柳慧のマリンバ作品は、「不確定性の音楽」などの実験音楽を経た一柳が再び定量記譜による楽譜での作曲を始めた頃の作品であり、伝統と現代、西洋と東洋、時間と空間、それぞれの融合・共存をテーマにしている。「音楽でもあり実験でもある」という一柳のスタンスは、音楽を精神的なものであろうとする重みから解放して軽やかなものになっている。気鋭のマリンバ奏者、中田麦が二人の音世界を提示する。

ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

<http://phoenixhall.jp/>

チケットセンターのページからお申込みください

来店窓口臨時休業
継続のお知らせ

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
 - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
 - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
 - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
 - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
 - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

- インターネット予約(主催公演のみ)
 - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
 - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますが電話でお問合せください。
 - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
 - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしていません。
 - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きビル8階のチケットセンター来店窓口を臨時休業いたしております。お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承くださいますようお願い申し上げます。

チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

あいおいニッセイ同和損保が・フェニックスホール協賛公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛
公演

波多野睦美メゾ・ソプラノリサイタル ～旅する歌～

主催 ならdeこんさーと

発売中 2020年12月5日(土) 13:30開演 自由席
一般前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 一般当日¥4,500(友の会会員¥4,050) 学生(高校生以下)前売¥2,500 学生当日¥3,000

出演 波多野睦美(メゾソプラノ)、辻ゆり子(ピアノ)

曲目 プリテン編:サリーガーデン、グリーンスリーヴス(英)
カッチーニ:アマリッリ(伊)
モンテヴェルディ:苦しみは甘く(伊)
ドビュッシー:マンドリン(仏)
シューマン:献呈(独)
間宮芳生:こぎりこ(日本)
平井夏美:瑠璃色の地球(日本) ほか

言葉と声の織り成す音楽は、時を超え空間を超え心を揺さぶる。モンテヴェルディのマドリガルからドイツリートそしてアルゼンチンのfolkloreまでを含めた洒落なプログラムは、幅広いレパートリーをもつ波多野睦美が本公演のため特別にプログラミングしたもの。移動を制限される昨今、音楽の中で自由に時と空間を行き来し、まるで世界旅行をしたかのように楽しんでいただければ。



©HAL KUZUYA

協賛
公演

音楽詩劇『葵の上一業のゆくえ』

主催 ラ・プレイヤード企画

発売中 2021年1月23日(土) 昼公演15:00開演 夜公演18:30開演 自由席
一般前売¥5,000(友の会会員¥4,500) 一般当日¥5,500(友の会会員¥4,950) 学生前売・当日¥3,000

出演 奈良ゆみ(ソプラノ)、亀井庸州(ヴァイオリン、ヴィオラ、尺八)、山村雅治(語り)

曲目 松平頼則(亀井庸州・奈良ゆみ編):
朗詠(ヴァイオリンソロ)、朧月夜に(アカペラ)、
世語りに(歌、ヴァイオリン、録音演奏、笙、箏、フルート)、
おくとみる(歌、尺八、影をのみ(歌、ヴァイオリン)、
美濃山(催馬楽)(歌、ヴァイオリン)、オマージュ(アカペラ)、
鈴鹿川(歌、ヴァイオリン)、嘆きわび(歌、尺八)、
鳥[迦陵頻]の急(歌、ヴァイオリン)

作曲家・松平頼則の独特な雰囲気を出し出すモノオペラ『源氏物語』を歌う奈良ゆみに演出家・箕田ヨシがインスピレーションを受け六条御息所の舞台を創った。2016年パリで、2020年東京の山王オーディウムで公演され、絶賛された。この舞台は奈良ゆみを主役とし、ヴァイオリン、ヴィオラ、尺八で比類なき演奏をする亀井庸州と、静かな佇まいで筋立てを語る山村雅治とで六条御息所の愛の世界を描く。



©Nina Contini Melis, Paris 09 June 2016

協賛
公演

トリオ・スペリオール ～失われた時を求めて～

主催 Concerto di Primavera

11/24(水) 発売 2021年2月7日(日) 14:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は1会員2枚まで。前売のみ。

出演 泉原隆志(ヴァイオリン)
上森祥平(チェロ)
佐藤卓史(ピアノ)

曲目 トゥリーナ:環 op.91
ラヴェル:ピアノ三重奏曲 イ短調
シューベルト:ピアノ三重奏曲 第2番 変ホ長調 D929

時間の循環を表わすとも言われているトゥリーナの「環」から始まるプログラム、過ぎ去った時間の螺旋に抱かれて、ラヴェル、シューベルトと時の追憶に身を委ねるひとときとなれば、と素晴らしいメンバーでお届けします。シューベルトの最晩年におけるピアノトリオ、渾身の作品に触れると、今回の大なる喪失を受け入れた先の希望を見せてくれているようにも思えます。



協賛
公演

演奏生活60周年 館野泉ピアノ・リサイタル

主催 キョードー

11/24(水) 発売 2021年2月23日(火・祝) 14:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500)

出演 館野泉(ピアノ)

曲目 J.S.バッハ(ブラームス編):シャコンヌ BWV1004より
スクリャーピン:左手のための2つの小品 op.9 前奏曲、夜想曲
光永浩一郎:苦海浄土によせる
～左手ピアノ独奏のためのソナタ(館野泉に捧げる)
新実徳英:夢の王国
～左手ピアノのための4つのプレリュード(館野泉に捧げる)
パブロ・エスカンデ:悦楽の園(館野泉に捧げる)

84歳を迎えてなお瑞々しい演奏で聴くものを魅了するクラシック界のレジェンド館野泉。演奏生活60周年記念公演は、左手の名曲バッハのシャコンヌ、スクリャーピンの小品、そして自身に捧げられた3つの新作による渾身のプログラムで聴かせるピアノ・ソロリサイタル。「演奏することはいまを生きている印(しるし)。苦海浄土を抜け、夢の王国を過ぎ、悦楽の園に至る。そしてその後は…」集大成ともいべきソロ・コンサート。これは必聴です!!



©横関一浩

協賛公演 KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka ～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～ オーレン・シェヴリン(チェロ)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

2021年3月3日(水) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥6,000(友の会会員¥5,400)

4/8「ミハル・カニユカ(チェロ)&関西弦楽四重奏団」とのセット券¥10,000 ※2公演セット券は前売のみ・限定数 ※友の会割引は前売のみ

出演 オーレン・シェヴリン(チェロ)、芦川真理子(ピアノ)

曲目 シューマン:民謡風の5つの小品集 op.102
ブラームス:チェロソナタ 第1番 ホ短調 op.38
グリーグ:チェロソナタ イ短調 op.36
ピアソラ:ル・グラン・タンゴ

2020年指定感染症対策による入国制限により実現できなかった名チェリストの公演を再現!“チェリストとして素晴らしいだけでなく、驚くべき音楽家である。”(サー・アンドレ・プレビン)ケルンWDR交響楽団(旧称=ケルン放送交響楽団)ソロチェリスト。2001年ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール第2位グランプリ受賞!



協賛公演 KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka ～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～ ミハル・カニユカ(チェロ)&関西弦楽四重奏団 ～シューベルト・プログラム～

主催 コジマ・コンサートマネジメント

2021年4月8日(木) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥6,500(友の会会員¥5,850)

3/3「オーレン・シェヴリン(チェロ)」とのセット券¥10,000 ※2公演セット券は前売のみ・限定数 ※友の会割引は前売のみ

出演 ミハル・カニユカ(チェロ)
関西弦楽四重奏団/林七奈、田村安祐美(以上ヴァイオリン)、
小峰航一(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)

曲目 シューベルト:弦楽四重奏曲 第12番 八短調「四重奏断章」D703
アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D821
(ソロ・チェロ&弦楽四重奏版・編曲:ミハル・カニユカ)
弦楽五重奏曲 八長調 D956

2020年指定感染症対策による入国制限により実現できなかった名チェリストたちによる公演を再現!当ホールで御馴染みの関西弦楽四重奏団と弦の国チェコが誇る名チェリストでプラハの春国際音楽祭芸術委員でもあるミハル・カニユカのコラボを是非お聴き逃しなく!



2021年度 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ審査結果のお知らせ

あいおいニッセイ同和損保が、フェニックスホールは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が芸術文化支援活動の拠点として設置、運営している音楽ホールです。優れたアーティストによる自主企画公演を開催する一方で、発表の機会を求めておられるアーティストの方々に呼び掛け、個性溢れる公演にこのホールを活用いただくことも重要な事業と位置付けています。「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」は、プロ・アマを問わず、音楽を愛するみなさまから公演の企画を募り、審査を経て選ばれた方々にホールと付帯施設を無料で提供しています。2021年5月から2022年2月までの4公演の枠に、国内外から25編のご応募をいただきました。去る7月18日に選考検討会を開催し、識者の方々のご意見を伺ったあと、さらにホールで選考を進めた結果、4編の企画を入選いたしました。

■本年の選考アドバイザー(五十音順) 青木さやか様(読売新聞大阪本社文化部記者) 伊東信宏様(大阪大学教授・音楽学)
逢坂聖也様(音楽ライター) 片岡リサ様(箏奏者・大阪音楽大学特任准教授) 能登原由美様(音楽評論家・大阪音楽大学非常勤講師)



2021年5月22日(土)

Trio Quffo リサイタル ～ヴァイオリン、クラリネット、ピアノが織り成す魅惑の三重奏～

■出演 谷崎大起(ヴァイオリン)、千葉友希(クラリネット)、田母神夕南(ピアノ)

■曲目 シェーンフェルト:クラリネット、ヴァイオリンとピアノのための三重奏曲 ほか



2021年8月4日(水)

檜垣智也 アコースモニウム リサイタル Terra incognita -知られざる大地

■出演 檜垣智也(アコースモニウム)

■曲目 ドニ・デュフル:知られざる大地(1998)、檜垣智也:新作初演 ほか



2021年11月3日(水・祝)

浄められた夜

■出演 Ensemble Amoibe

■曲目 ブラームス:弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 op.18、シェーンベルク:浄夜 op.4 ほか



2022年2月2日(水)

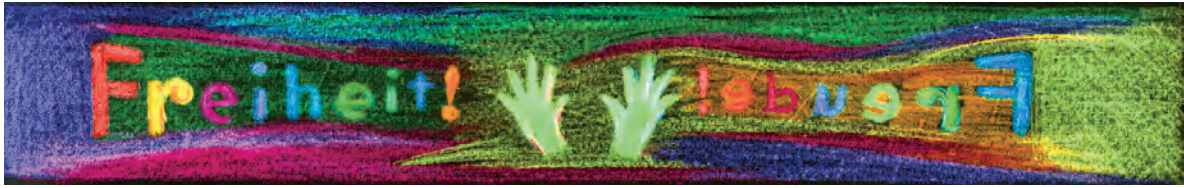
中村圭介 ピアノリサイタル 抒情でたどるグリーグ

■出演 中村圭介(ピアノ)

■曲目 グリーグ:抒情小曲集より ほか

Freiheit!

— 福井敬



Keizo Matsui

オペラ『フィデリオ』が終演しようというその時、ベートーヴェンがこの作品に込めた想いが、フィナーレの壮麗なる響振の渦中にある私に降り注いでいた…。

9月、このコロナ禍の最中、東京二期会オペラ公演『フィデリオ』は開催されました。

ベートーヴェン唯一のオペラであるこの『フィデリオ』は、ヨーロッパにおいて、戦争が終わり、「自由」や「解放」のオペラとして劇場が再開されるときに上演されるなど、常に歴史の分岐点上で上演されて来たオペラです。

演出の深作健太さんは、レオノーレとフロレスタンの絶離を、アウシュビッツ、ベルリン、パレスチナ、そしてトランプの4つの壁による分断で表しましたが、そこに更なるコロナによる、世界の国々や人と人の分断までもが加わり、とてもリアルなドラマが描き出されてきました。



東京二期会オペラ劇場『フィデリオ』からフロレスタン役を演じる福井敬

コロナ禍でのオペラでは、ソーシャルディスタンスを確保しながら演技をするという、云わばドラマを創り出すための濃密な距離が取れない!

しかし、そのジレンマこそが、牢獄の檻で隔てられた夫婦の焦燥、死に打ち勝とうとする意志を明らかにしており、そのもどかしさに私は、快感さえ覚えるほどでした。

『Freiheit! 自由!』
そしてフィナーレを迎え、全てが解放され、自由を感受出来る幸福!

幕が降りた瞬間、「ああ、ここから新たな時代と創造が始まるのだ…」との思いを強くしました。

『Freiheit! 自由!』

『Freude! 喜び、歓喜!』にも通じています。

世界中で、何万ではさかない数の、このバリトンソロの第一声が時を越え、永々と響いて来たのです。

そう想いを巡らせるだけで、「第九」を演奏出来ることに感謝し、身震いする程の高まりが込み上げて来ます!

ベートーヴェンの音楽の源にあるもの。

『Freiheit!』
『Freude!』

『Freiheit!』
『Freude!』

『Freiheit!』
『Freude!』

『Freiheit!』
『Freude!』

■公演のお知らせ■ 福井敬プロデュースオペラ プッチーニ:歌劇「ラ・ボエーム」(ハイライト) 2021年4月18日(日) 14:00開演、指定席/あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール/一般前売:当日¥5,500(友の会会員¥5,000)/出演 福井敬(テノール)、黒田博(バリトン)、上田純子、高橋広奈(以上ソプラノ)、谷池重紬子(ピアノ)/曲目 プッチーニ:歌劇「ラ・ボエーム」ハイライト ほかに主催 福井敬.net *本公演は、2020年6月27日(土)の振替公演です。

福井敬(ふくい・けい)/テノール

国立音楽大学大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。二期会『ラ・ボエーム』でデビュー以来、群を抜く輝かしい声で日本を代表するテノールとして活躍。古典から現代まで、手掛けたオペラは60を数え、特に『トゥーランドット』カラフは様々なプロダクションで称賛を得ている。コンサートでも国際的評価を受け、2016年には巨匠Z.メータ指揮が指揮したウィーン・フィルと「第九」で共演。第65回芸術選奨文部科学大臣賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞本賞、五島記念文化賞オペラ新人賞など多数受賞。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211
Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2020年11月
発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
編集 諸藤修一
デザイン 松井桂三有限公司

